

令和5年度 学校関係者評価書

1 自己評価書（学校経営計画・自己評価書）全般について

入谷南中学校の開かれた学校づくり協議会として、以下のように評価をさせていただきました。

①学校教育目標、目指す学校像、生徒像、教師像について

- ・教員の学校教育目標の達成度では肯定的な意見が多く、5段階評価で3.8であった。
- ・『自ら学ぶ』は、生徒によって大きな差がある。学ぶ生徒はどんどん学び、学ばない生徒との差が大きくなっている。学ぶ意欲が湧かない生徒をどのように感化するのか、早急な対策が必要である。
- ・朝礼や学年集会・朝の学活・行事の事前指導などで集団生活するうえでのルール・マナーをその都度指導している。しかし、なかなか定着していない部分がある。学校でも細かく指導しているが、家庭や地域とも連携して今後も温かく指導して行ってほしい。

2 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

これまでの課題が「学力の向上」であった。今年度も「学力の向上」としており、自己評価しているものを評価させていただきました。

①重点的な取組事項1「学力向上アクションプラン」について

- ・今年もすべての項目が「おおむね達成」できている。
- ・授業ではICTを積極的に活用している。また、ねらいと振り返りを明確にした授業展開（足立スタンダード）を徹底し、学力向上に効果を上げている。今後は小中で連携したICT機器の活用方針（舎人スタンダード）を実施し、定着させて行ってほしい。
- ・サマースクールでは学力調査の結果を分析し、弱点を補う支援が出来ている。生徒の指導に当たっては、教員や学習支援ボランティアを活用し、特に1年生の数学では入谷南中学校の全教員・学習ボランティアが参加して生徒一人にマンツーマン指導を行うことで効果を上げた。放課後のパワーアップタイム（放課後補充教室）などで継続して弱点克服の対策を実施して行ってほしい。

②重点的な取組事項2「生徒の豊かな心を育む：キャリア教育や体験的な活動を通しての自尊感情、自己肯定感の向上」について

- ・今年度は学校行事を通常通り実施した。しかし、運動会練習や体育の授業でけがや体調不良・事故が多発した。競技や授業の日時や内容について再検討し、内容も検討する必要性を感じた。また、自分たちで企画・練習・運営・発表をおこなうことで生徒たちの自主性の向上を目指しているようだが、生徒自身に任せっぱなしにすることなく、その都度、中学生らしい礼儀正しく機敏な態度の指導もして行ってほしい。地域関係者として、これからも学校行事を支えていこうと思います。
- ・学校生活を通して、生徒に正しい経験を積ませてほしい。特に「あいさつ」では、92.2%の生徒が「先生や友達へ進んであいさつをしている」と回答している。しかし、来校者に対してあいさつできていない現状がある。今後も「あいさつ」の重要性をしっかりと指導して行ってほしい。
- ・3年間を見通したキャリア教育の充実を図り、生徒たちが将来の夢や希望をもてるような活動の充実を図ってもらいたい。地域関係者として、そのための協力をしていきたい。

③重点的な取組事項3「小中連携・保護者や地域・外部との連携の深化：生徒の健全育成を目指した教育活動の充実」について

- ・今年も3年生の受験に向けての模擬面接に開かれた学校づくり協議会委員が関わったのでよかった。生徒にとって良い経験になり、受験での自信につながっていただければ良いと思います。
- ・今年度も、花いっぱい運動が多く実施され、開かれの委員と生徒さんとが一緒になって活動できて、豊かな心の育成に貢献できたと思います。来年度は生徒会とも協力し、回数を増やしていきたい。
- ・地域に根ざした学校として地域の行事に生徒を積極的に参加させてほしい。教員の働き方改革があり、勤務日以外の出勤等が難しい面もあるが、生徒が地域の一員としての意識の醸成や社会貢献・自己の成長の機会とするために、保護者や地域の人材を活用してもらい、生徒の参加を促してほしい。

3 その他

- ・今年度、病気休職の教員が1名出た。校長・副校長は教員の働き方改革や心身の健康についてしっかりと把握をして学校運営をして行ってほしい。